

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Dev Biol (Basel) 2006; 123: 325-333	sCJDまたはvCJDで死亡した患者の脳標本中のPrP <sup>Sc</sup> 量をin vitroアッセイで国際共同研究により評価した。Conformation-Dependent Immunoassayがイムノブロット法によるアッセイより感度が高かった。ヒト二倍体細胞に種々の遺伝子型のプリオンを感染させる試みは今までのところ成功していない。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell Tissue Res 2006; 324: 497-505	PrP <sup>c</sup> は主に神経細胞に見られるが、それ以外の分布に関してはほとんど知られていない。足細胞は神経と多くの類似点があるため、ウシの腎臓を用いて、免疫組織化学的方法、R-PCR法およびELISA法により、PrP <sup>c</sup> の発現を調べた。その結果、PrP <sup>c</sup> は選択的に足細胞に局在し、特に糸球体外メサンギア細胞に顕著に発現することが明らかとなった。
307	2006/11/08	60689	大塚製薬工場	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	健康なブタの小腸粘膜抽出物	米国、カナダ、中国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 914-920	2005年7月中旬から8月末の間に中国四川省で215例のヒト連鎖球菌感染が報告され、うち66例は確定例であった。全ての感染例は、原因不明で死んだブタや病気のために食用になったブタを屠殺する過程で暴露した農業従事者で発生した。61例(28%)が連鎖球菌毒素ショック症候群を呈し、うち38例(62%)が死亡した。その他、敗血症(24%)と髄膜炎(48%)または両者であった。単離された全ての菌はtuf、種特異的16S rRNA、cps2J、mrp、efおよびslyに対する遺伝子に陽性で、単一の株であった。
												E型肝炎	J Clin Virol 2006; 36: 100-102	2004年6月にハンガリーで検出されたヒトE型肝炎感染の最初の症例報告である。60才、男性で、国外への旅行歴はなく、発病の1か月前に自家屠殺したブタの肉から作ったソーセージを食べていた。このE型肝炎ウイルスHungary1は遺伝子型3に属し、Hepevirus属HEVの新しいヒト変異型の可能性がある。
												レンサ球菌感染	感染症学雑誌 2006; 80(S): 297	比較的稀とされるブタ連鎖球菌による髄膜炎の症例報告である。串焼屋に勤める57歳女性で、発熱、頭痛、嘔吐、幻視等を呈した。血液培養ではグラム陽性桿菌が検出されたが、髄液培養ではグラム染色陰性であった。最終的にブタ連鎖球菌が同定された。未調理の豚肉から感染したと考えられ、中国では集団感染が発生したこともあり、感染の危険性について認識が必要と思われる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	臨床病理 2006; 54: 408-412	千葉大学附属病院消化器内科において、原因不明とされた非A非B非C型急性肝炎126例中7例でE型急性肝炎が含まれていることが確認された。この中の1例は、発症約2カ月前に飲食店で豚のレバ刺しを食べていた。かつては輸入感染症と考えられていたE型肝炎が国内でも発症していることが明らかとなった。
												E型肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1643-1649	IV型HEVについてヒトとブタ宿主との関係を調べるため、各々のウイルス保有率およびウイルスの遺伝的性質を調べ、また養豚場と感染のリスクとの関係を評価した。中国東部の2つの養豚地区では、ブタ9.6%、健康人0.3%で大便中からHEVが検出され、IV型サブタイプ2つが両者に共通していた。養豚に従事するヒトは他の職業のヒトより感染リスクが74%高く、養豚場の下流の住民は上流の住民より感染リスクが29%高かった。IV型HEVはブタからヒトへ自由に感染すると考えられる。
												レンサ球菌感染	N Engl J Med 2006; 354: 1325	アメリカでのStreptococcus suis髄膜炎のヒト感染例についての報告である。健康であった59歳の男性農業従事者が突然、発熱と錯乱を起こし、髄膜炎となった。血液と髄液培養によりS. suis感染と判明した。セフトリアキソンとバンコマイシン投与では状態が悪化したため、抗菌療法をアンピシリン静注に変更した。13日間入院後、症状はなくなり、退院した。患者は入院の数ヶ月前、子豚を近くの農場から購入したが、兄弟の子豚が髄膜炎で死んでおり、S. suisはその農場で検出された。
												細菌性胃腸炎	J Med Microbiol 2006; 55: 747-749	散発性エルシニア症の感染経路については、ブタと人との関連性は証明されていない。1995年から2003年にかけて、フィンランドとドイツで下痢のヒト282名の便およびブタ534頭の糞などから得た検体から単離された合計816株のY. enterocolitica 4/O:3を、制限酵素を使ったPFGEで関連性を検討した。その結果、両国共、ヒト由来株のほとんどはブタ由来株と区別ができず、一方、遺伝子型の大部分(182例中178例)は両国で異なっていた。両国においてブタがヒトエルシニア症の重要な起源であると考えられる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
308	2006/11/08	60690	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	オーストラリア、ニュージーランド、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ、ウルグアイ(MCBIの一部米国産を含む)	製造工程	無	無	無			
309	2006/11/08	60691	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
310	2006/11/08	60692	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
311	2006/11/08	60693	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清	日本	製造工程	無	無	無			
312	2006/11/08	60694	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水	日本	製造工程	無	無	無			
313	2006/11/08	60695	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ヘビーハムスターの腎臓	不明	製造工程	無	無	無			
314	2006/11/10	60696	テルモ	ヘパリン	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	有	無	無	感染	ProMED20060412-0100	中国東部の河川で、死亡したブタ数十頭が発見されたが、死因は不明である。何らかの感染症が死因ではないかと警戒している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	ProMED20060420-0060	フィリピンBulacan州で子豚が致死性のウイルスによる下痢症に罹患しており、感染拡大が懸念されている。マニラでは3ヶ月ほどで豚肉が不足するおそれがある。
315	2006/11/14	60697	ワイス	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	無	無	無			
316	2006/11/15	60698	第一ラジ オアイソ トープ研究 所	テクネチウム人血清アルブミン(99mTc)	テクネチウム人血清アルブミン(99mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	結核	WHO 2006年9月5日	WHOは病原性が強く、致死性の結核の世界的な拡大防止の強化および措置を求めた。6クラスの第2選択薬の3クラス以上に耐性のある多剤耐性結核(XDR-TB)は世界の様々な地域で確認されており、特に旧ソビエト連邦やアジアで多い。また南アフリカではXDR-TBでHIV陽性である患者群で極めて高い死亡率が確認されている。
317	2006/11/21	60699	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Guardian 2006年5月2日 <a href="http://www.guardian.co.uk/frontpage/story/0,,1765531,00.html">http://www.guardian.co.uk/frontpage/story/0,,1765531,00.html</a>	英国は、1990年代に輸出された英国製の血液製剤からのvCJD感染の危険性について、輸出先の14か国に連絡を行った。輸血を介したvCJD感染は英国では3例報告されており、未発症の感染者からの供血により引き起こされる災害の「第二の波」が懸念される。最も危険性の高いブラジルとトルコや、ブルネイ、アラブ首長国連邦、インド、ヨルダン、オマーン、シンガポールに予防措置をとるよう勧告した。
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1041-1043	タイで2005年11月28日にトリインフルエンザを発病し、12月7日に死亡した5歳の少年の血液検体を調べた。RT-PCRにより、血漿はH5N1インフルエンザウイルス陽性であった。ウイルスを分離し、遺伝子配列を決定したところ、A/Thailand/NK165/05 accession no. DQ372591-8であった。ヘムアグルチニンとノイラミニダーゼ遺伝子について系統遺伝学的分析を行ったところ、2004年初めにタイで発生した野鳥のインフルエンザウイルスの特徴と同じであった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	古典的CJDの潜伏期間は38.5年であり、vCJDの潜伏期間も非常に長いことが示唆されている。また、未確認ではあるが恐らくかなりの数の血液ドナーが、欧州におけるBSE激増中にフランスで感染した可能性がある。これらのことから、FDAは1980年以降フランスで血液又は血液成分の輸血を受けた者からの供血を無期限に停止するという予防策の導入をガイダンス案として発表した。
												HIV	日刊薬業 第12105号 平成18年9月6日	日本人初のHIV-2感染者が確定された。男性は過去に西アフリカに渡航し、現地で輸血した経験があるため、これが感染経路と見られている。厚生省は、2型の検査も確実に、検査漏れがないよう、各都道府県に通知した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省 平成18年8月24日	平成18年8月23日に開催された薬事・食品衛生審議会血液事業部会安全技術調査会において、ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用者に対する献血制限措置を日本赤十字社が実施することが了承された。
												マラリア	AABB Weekly Report 2006; 12(32): 10	2006年9月8日付けのKorea Timesによると、交通事故後に輸血を受け、その後マラリアと診断された患者が、疑わしい血液の流通を防ぐことができなかった韓国赤十字を批判している。韓国赤十字は状況を知らず、何の行動も起こさず、その結果、不適切な血液製品が流通し続けたとのことである。輸血によるマラリア感染で既に1名の患者が死亡している。
318	2006/11/21	60700	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Guardian 2006年5月2日 <a href="http://www.guardian.co.uk/frontpage/story/0,,1765531,00.html">http://www.guardian.co.uk/frontpage/story/0,,1765531,00.html</a>	60699に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1041-1043	60699に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	60699に同じ
												HIV	日刊薬業 第12105号 平成18年9月6日	60699に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省 平成18年8月24日	60699に同じ
												マラリア	AABB Weekly Report 2006; 12(32): 10	60699に同じ
319	2006/11/22	60701	塩野義製薬	インターフェロン ガンマ-la(遺伝子組換え)	リゾチーム	ニワトリ卵白	アメリカ	製造工程	無	無	無			
320	2006/11/22	60702	塩野義製薬	インターフェロン ガンマ-la(遺伝子組換え)	リゾチーム	ニワトリ卵白	アメリカ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1041-1043	タイで2005年11月28日にトリインフルエンザを発病し、12月7日に死亡した5歳の少年の血液検体を調べた。RT-PCRにより、血漿はH5N1インフルエンザウイルス陽性であった。ウイルスを分離し、遺伝子配列を決定したところ、A/Thailand/NK165/05 accession no. DQ372591-8であった。ヘムアグルチニンとノイラミニダーゼ遺伝子について系統遺伝学的分析を行ったところ、2004年初めにタイで発生した野鳥のインフルエンザウイルスの特徴と同じであった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
321	2006/11/22	60703	三菱ウェルファーマ	肺サーファクタント	サーファクタント	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
322	2006/11/22	60704	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	人血液	米国	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	非特異的PCRを行った後、染色体由来配列を除去することにより、非A-E肝炎患者の血清から、外来DNA断片が得られた。これらの内の一つをNV-Fと名づけたが、部分的オープンリーディングフレームを含み、非A-E肝炎患者69例中17例(24.6%)に検出された。NV-F陽性患者65例中49例(75.4%)の血清中に抗NV-F抗体が検出された。また免疫蛍光分析により、抗原は患者の肝細胞に存在することが明らかとなった。NV-Fはヒト肝炎に関連する新規の1本鎖DNA断片である。
												ウイルス感染	J Med Primatol 2005; 34(S1): 333	サル泡沫状ウイルス(SFV)は非ヒト霊長動物で蔓延している非病原性感染症であるが、唾液を介して伝播すると考えられている。最近ヒトでの感染が報告された。SFVが血液を介して伝播するかを調べるため、SFV陰性アカゲザルに生物学的および遺伝的に異なったSFVに感染した2匹のアカゲザルの血液を輸血し、ウイルス感染および持続、抗体反応、臨床的变化をモニターした。接種後1年目の結果から、全血でSFVが伝播することがあることが示された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: e32	土壌ミネラルと病原性プリオン蛋白(PrP <sup>Sc</sup> )の相互作用を検討することによって、土壌がTSE蓄積体として提供される可能性を調べた。その結果、2種類の粘土ミネラル、石英および4種類の全土壌サンプルにPrP <sup>Sc</sup> が吸着し、感染性も維持されることが明らかとなった。我々の研究結果は、土壌環境に入ったPrP <sup>Sc</sup> は生物に利用できる形態で維持され、プリオン病の動物感染を永続させるとともに、他の種をこの感染性病原体に曝露させる可能性があることを示している。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ Online doi:10.1136/bmj.38804.511644.55	1996年から1999年に、手術時に20-29歳であった患者から得られた虫垂および扁桃12674検体のうち、病原体プリオンに陽性染色であった3例(虫垂)について、プリオン蛋白の遺伝子型分析を行った。3検体中2例で分析が可能であり、両者ともプリオン蛋白遺伝子(PRNP)コドン129のValがホモ接合体であった。今まで、vCJD患者は、Met/Valのヘテロである医原性の1例を除いて全て、PRNPのコドン129がMetのホモ接合体であり、Valホモ接合体がvCJDに対し感受性があることが初めて示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurol 2006; 5: 393-398	マウスPrP遺伝子の置換によってヒトまたはウシのコードン129遺伝子型(MM, MV, VV)のPrP蛋白を発現するマウスを作製し、BSE又はvCJDを接種し、疾患の臨床的及び病理学的な徴候を評価した。その結果、BSEはウシの系には感染したが、ヒトの系には感染しなかった。対照的に、vCJDはヒトの3つの系全てに感染したが、各々の遺伝型で病理学的特徴、感染効率が異なった。MMは感染効率が高く、病理学的特徴および臨床症状が早く発現した。VVは感染効率が最も低く、発現までの期間が長かった。
												E型肝炎	肝臓 2006; 47(Supplement1): A168	今回われわれは血液感染のハイリスクグループである血友病患者におけるHEV抗体の陽性頻度を調査した。その結果、調査した血友病患者80例の内の13例(16.3%)がHEV抗体陽性であった。過去の研究では日本人の供血者におけるHEV抗体の陽性率は3.7%、透析患者で9.4%と報告されており、血友病患者におけるHEV血液感染の可能性が示唆された。また、他のウイルスマーカーの陽性率については、HEV抗体陽性例と陰性例では差は見られなかったが、年齢が高い方がHEV抗体陽性例の割合が高かった。
												E型肝炎	日本輸血学会誌 2006; 520: 231	北海道地区において試験的に献血時にHEV関連問診を追加するとともに、HEV NATスクリーニングを実施し、問診の有効性とHEV感染の実態を調査した。結果は、HEV問診に該当したのは765名(0.3%)で、その内の1名(0.1%)にHEV RNAが認められた。HEV NATスクリーニング陽性者は20名(HEV問診該当者1名を含む)で、陽性率は1/11,090であった。陽性者の多くはALT値が正常でHEV抗体は陰性であった。道内の献血者のHEV RNA陽性率は予想以上に高い。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet 2006; 367: 2068-2074	1996年7月から2004年6月までに11人のクールー病患者を確認したが、全員がSouth Foreに住んでいた。患者は全員、1950年代後半に食人習慣が中止される前に生れていた。推定された潜伏期間は、最小で34年から41年の範囲であったが、男性における潜伏期間は39年から56年の範囲と考えられ、更に最長で7年長かった可能性もある。プリオン遺伝子の分析によって、殆どのクールー病の患者は、潜伏期間の延長とプリオン病への耐性に関する遺伝子型であるコードン129がヘテロ接合体であることが明らかとなった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2006; 313: 92-94	TSEの前兆期に、スクレイビーに感染させたハムスターの血液中のPrPScをPMCA (protein misfolding cyclic amplification)法を用いて生化学的に検出した。潜伏期間の初期には、おそらく血液中に検出されたPrPScは末梢でのプリオンの複製に由来していると思われる。感染しているが発症していない動物の血液中のプリオンを生化学的に検出することができるということは、TSEの非侵襲的早期診断を期待させる。
												バルボウイルス	Thromb Haemost 2004; 92: 838-845	今まで、凝固因子製剤のバルボウイルスB19遺伝子型2による汚染は報告されていないので、市販されている21製剤の202ロットを、バルボウイルスB19遺伝子型1と遺伝子型2のDNAについてPCRにより調べた。遺伝子型1のDNAが、現在投与されているロットの77/181(42.5%)に、1980年代初めまで使用されたロットの17/21(81%)に検出された。遺伝子型2のDNAは、5/202(2.5%)に見出され、その全てが遺伝子型1のDNAに汚染されていた。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	古典的CJDの潜伏期間は38.5年であり、vCJDの潜伏期間も非常に長いことが示唆されている。また、未確認ではあるが恐らくかなりの数の血液ドナーが、欧州におけるBSE激増中にフランスで感染した可能性がある。これらのことから、FDAは1980年以降フランスで血液又は血液成分の輸血を受けた者からの供血を無期限に停止するという予防策の導入をガイダンス案として発表した。
												E型肝炎	肝臓 2006; 47: 384-391	わが国のE型肝炎の実態を明らかにする目的で、全国から総数254例のE型肝炎ウイルス感染例を集め、これを解析した。その結果、以下の知見を得た。1)HEVは全国に浸透している。2)感染者の多くは中高年(平均年齢約50歳)で、男性に多い。3)我国に土着のHEVの遺伝型は3型と4型である。4)年齢と肝炎重症度に相関がある。5)遺伝型は4型が顕在化率も重症化率も高い。6)発症時期が無季節性である。7)感染経路は、動物由来食感染が約30%、輸入感染が8%、輸血感染が2%、不明が約60%であった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Future Virol 2006; 1: 659-674	血液製剤の製造工程におけるプリオンの除去に関する総説である。プリオン除去のための個々の製造工程は、実際の製造条件を実験室での条件にスケールダウンさせ、確立されているスクレイパー株をモデル系として用いて通常は評価されている。しかしながら、血液中のプリオンタンパクの存在形態が不明なので、評価実験のためのスパイク材料としてのプリオンの調製方法は注意深く考慮しなければならない。現在のところ、エタノール分画、PEG分画、カラムクロマトグラフィー、ウイルス除去膜およびデブスフィルターでの濾過が有効とされている。
323	2006/11/22	60705	ベネシス	乾燥人フィブリノゲン	凝固性たん 白質	人血液	日本	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	60704に同じ
												ウイルス感染	J Med Primatol 2005; 34(S1): 333	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: e32	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	BMJ Online doi:10.1136/bmj.38 804.511644.55	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet Neurol 2006; 5: 393-398	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47(Supplement1): A168	60704に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	日本輸血学会誌 2006; 520: 231	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet 2006; 367: 2068-2074	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Science 2006; 313: 92-94	60704に同じ
												バルボウィル ス	Thromb Haemost 2004; 92: 838-845	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47: 384-391	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Future Virol 2006; 1: 659-674	60704に同じ
324	2006/11/22	60706	ベネシス	トロンビン	トロンビン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	60704に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	J Med Primatol 2005; 34(S1): 333	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: e32	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	BMJ Online doi:10.1136/bmj.38 804.511644.55	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet Neurol 2006; 5: 393-398	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47(Supplement1): A168	60704に同じ
												E型肝炎	日本輸血学会誌 2006; 520: 231	60704に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet 2006; 367: 2068-2074	60704に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2006; 313: 92-94	60704に同じ
												バルボウィルス	Thromb Haemost 2004; 92: 838-845	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47: 384-391	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Future Virol 2006; 1: 659-674	60704に同じ
325	2006/11/22	60707	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	60704に同じ
												ウイルス感染	J Med Primatol 2005; 34(S1): 333	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: e32	60704に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ Online doi:10.1136/bmj.38 804.511644.55	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurol 2006; 5: 393-398	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47(Supplement1): A168	60704に同じ
												E型肝炎	日本輸血学会誌 2006; 520: 231	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet 2006; 367: 2068-2074	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2006; 313: 92-94	60704に同じ
												パルボウイルス	Thromb Haemost 2004; 92: 838-845	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47: 384-391	60704に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Future Virol 2006; 1: 659-674	60704に同じ
326	2006/11/22	60708	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	60704に同じ
												ウイルス感染	J Med Primatol 2005; 34(S1): 333	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: e32	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ Online doi:10.1136/bmj.38804.511644.55	60704に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurol 2006; 5: 393-398	60704に同じ
												E型肝炎	肝臓 2006; 47(Supplement 1): A168	60704に同じ
												E型肝炎	日本輸血学会誌 2006; 520: 231	60704に同じ